

# お知らせ

## ■ 新人紹介

(株)フリーステーションの常勤理学療法士前杉祐樹です。

これまで急性期病院、回復期病棟、老人保健施設、訪問リハビリの経験が約6年あります。

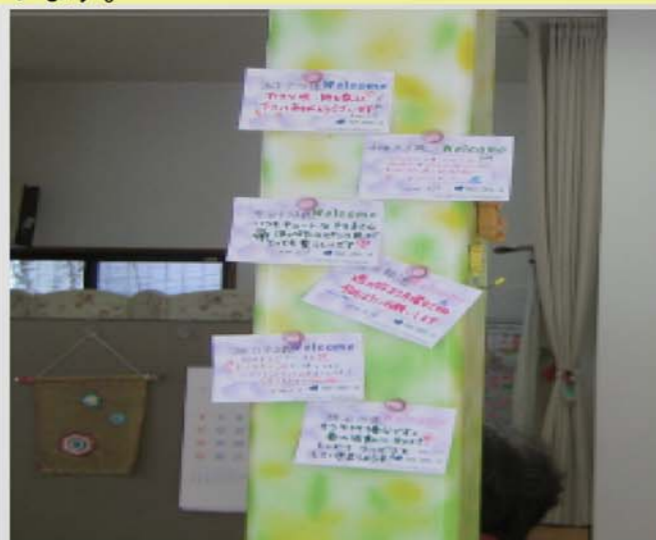
私が大事にしていることは、「反応を敏感に感じとること」です。それは利用者様の身体の反応、心の反応、ご家族様の反応であり、自分が関わることで、これら全てにおいて良い反応が出せるよう努力して参ります。

これから宜しく  
お願い致します。



## ■ デイサービスからのお知らせ

ご利用様をウエルカムカードでお出迎えています。



## ■ 池田事務所からのお知らせ

「今日は何の日」を毎日ブラックボードに書き込んでいます。通りすがりに是非お読み頂ければ幸いです。



## ■ 第1回地域貢献清掃活動について

お陰さまで(株)フリーステーションは地域に根差して11年を迎えました。これも一重に地域の皆様のご支援の賜物と大変感謝いたしております。そこで感謝の気持ちで地域清掃活動に取り組んで参ります。

◆清掃活動日: 4月1日(日)9:00~10:30

◆場所: ときわ台駅から東ときわ台付近  
このベストを着用します。



編集後記  
念願のフリーステーション通信を発行することができました。フリーステーションを利用して下さる全ての方々に、益々健康になっ頂くことを目標にします。  
次回通信を待ち望んでいただけると嬉しいです。

## 発行



株式会社フリーステーション

池田市新町3-12

電話: 072-750-6255

お気づきの点、ご意見等ございましたら、お聞かせくださいませ。



FREE STATION  
株式会社フリーステーション

# フリーステーション通信

H24年4月1日発行

創刊号

## INDEX

1. 表紙
2. メッセージ  
ニュース
3. 特集
4. お知らせ

## フリーステーション通信 創刊のご挨拶

みなさま、こんにちは。

桜の花が咲き始め、さわやかな季節となりました。

おかげさまで、株式会社フリーステーション開設して11回目の春を迎えることができました。改めて、ご支援くださいました皆様に深く感謝いたします。

この度、『フリーステーション通信』を月1回、発行することいたしました。

フリーステーションは、介護というサービスを通して、住み慣れた地域で暮らしていきたいと思っておられる方々のサポーターになることを目指している会社です。

今年介護保険制度改正がありました。今回の改正では、「地域で暮らし続けること」「介護予防やリハビリテーション」などが重視されています。そしてもうひとつ、これからの介護サービスは「ご利用者様が選ぶ」ということもポイントだと思っております。

フリーステーションは、この改正を機に、今まで以上に地域の方々がいきいきと過ごしていただけるようなサービス、ご自身で選んでいただけるサービスを形にしていきたいと考えております。

『フリーステーション通信』で私たちからのニュースや是非知っていただきたい私たちの思いを、心をこめてお届けしたいと思っております。毎月の発行を楽しみにしていただける内容にしていきたいので、どうぞご支援をよろしくお願いいたします。

株式会社フリーステーション  
代表取締役 小宮 悦子



# メッセージ/ニュース

介護保険制度改正によりフリーステーションデイサービスは、ご利用様がリハビリを受けられることで生活意欲が増進され、リハビリの効果が增大されることを期待し、通所介護サービス計画を作成して参ります。

現在計画中、或いは実施しているリハビリ内容をご紹介します。

1. 体育大学出身、健康運動療法士の大鍋美幸先生が運動療法を担当されます。

月曜日 金曜日の予定

2. 低周波治療器を導入し鍼灸の資格を持っているスタッフがリハビリにつながるよう計画していきます。

水曜日 木曜日の予定

3. 任天堂Wiiソフトを使い、リハビリにつながるようにプログラムを組んでいます。ご利用様はゲーム感覚で良い汗をかいていただいています。

火曜日 実施中

4. フルート奏者スタッフ若松が五感を刺激した音楽を全身で感じ取るリハビリを担当します。電子ピアノを始め色々な楽器を取り入れ合奏を企画していきます。



# 特集

## 【在宅へのこだわり】

介護が必要になった場合の生活は2つに分かれます。一つは施設（病院）で過ごす。もう一つは家で過ごす、です。どちらが良いのかは、それぞれの事情によって違いますが、私たちは「**今までの生活の延長線上で、その人らしく自然に暮らすことが何よりの幸せ**」だと考えています。

住み慣れた家には、その方の歴史や思い出があり、たとえ介護用の設備は整っていないなくても、使い慣れた物がたくさんあります。

介護と無縁であればできるその人らしい自然な暮らしが、施設ではかなり厳しく制限をされます。例えば「食事の時間になったから、食事をする」「入浴の順番が来たから、お風呂に入る」「まだ電気を消したくないのに、消灯時間だから電気が消える」ことは、好きに暮らすとは言えません。私たちは今、その日の気分で食事もお風呂も寝る時間も決めることができます。

小さなことかも知れませんが、それらの積み重ねが「好きに暮らす贅沢」と言えるのではないのでしょうか？

詳しくはホームページをご覧ください。

フリーステーション池田

検索

クリック

